れんごうさが

No.185
2022年7月

働くことを軸とする安心社会～まもる･つなぐ･創り出す～

RENGO SAGA

発　行 日本労働組合総連合会・佐賀県連合会
発行人 草場義樹　　編集者 高祖和彦

〒840-0804 佐賀市神野東4-7-3 TEL0952-33-3705 FAX0952-33-2805

第93回佐賀県中央メーデー開催

連合佐賀は第93回佐賀県中央メーデーを4月29日（金･祝）アバンセホールにて、規模を大幅に縮小し式典のみの開催としました。

はじめに東部地域協議会西村議長により開会宣言を行い、その後、井手会長よりメーデーの意義と、佐賀県の各情勢も交えての主催者代表挨拶を行いました。

続けて、3名の来賓の方々にそれぞれ挨拶をいただき、以降下記のスケジュールで進めました。

【スケジュール】

《開　会》･････････････10時30分～司会／円城寺青年委員長、石隈女性委員長
《開会宣言》･････････････10時35分～東部地域協議会／西村議長
《主催者代表あいさつ》･･10時40分～井手会長
《来賓あいさつ》････････10時55分～佐賀県知事、佐賀市長、立憲民主党佐賀県連代表
《来賓紹介》････････････11時25分～議員懇談会、退職者連合、 顧問弁護士、
労福協、九州労働金庫佐賀県本部、こくみん共済coop佐賀推進本部
《祝電・メッセージ》････11時35分～司会
《メーデースローガン》･･11時40分～司会
《メーデー宣言採択》････11時42分～女性委員会／城島事務局長
《ガンバロー三唱》･････11時47分～井手会長
《閉　会》･････････････11時50分～司会

【各地域メーデー開催内容】

地協	地区・地域	日　時	場　所	参加者数
北部	有田	4月26日(火)　19時00分	有田町生涯学習センター	49名
	唐津･東松浦･伊万里	4月29日(金･祝)15時00分	唐津市文化体育館	113名
東部	鳥栖･三養基	4月29日(金･祝)10時30分	サンメッセ鳥栖	34名
	佐賀県中央･佐賀	4月29日(金･祝)10時30分	アバンセホール	116名
南部	武雄･杵島･多久･小城･鹿島･藤津	4月29日(金･祝)10時00分	武雄市文化会館	161名

△井手会長挨拶

△山口佐賀県知事挨拶

△司会の円城寺青年委員長、石隈女性委員長

女性のための連合全国一斉集中労働相談ホットライン

～仕事で悩むあなたを応援（サポート）します!～

連合佐賀は、例年6月に開催している「女性のための全国一斉集中労働相談ホットライン」を7日（火）･8日（水）2日間、連合佐賀事務所にて実施しました。新型コロナの影響により女性委員会への要請は行わず、連合佐賀役員と組合づくり相談員で対応しました。

〔周知方法〕テレビCM、ラジオCM
〔実　　績〕2件
〔相談内容〕①有給休暇について　・パートで働いているが、有給休暇はあるのか？
②賃金について　・時給で働いているが、平等に時給が上がらない

連合佐賀「第26回参議院議員通常選挙勝利総決起集会」

連合佐賀は6月4日（土）、ガーデンテラス佐賀ホテル＆マリトピアにて、第26回参議院議員通常選挙を連合佐賀として連携し、運動を融合させ、しっかり戦う決起をするため集会を開催し、連合佐賀役員、各構成組織、地協、議員懇談会、退職者連合から約150名が参加しました。

△井手会長挨拶

〈連合佐賀 会長あいさつ〉

主催者を代表して井手会長より、連合佐賀として、佐賀県選挙区「小野つかさ」候補予定者と比例区構成組織候補予定者全員の必勝に向け、闘い抜こう！と力強く挨拶しました。

〈激励あいさつ〉

連合本部から山根木晴久副事務局長、政党から立憲民主党佐賀県総支部代表原口一博衆議院議員、国民民主党佐賀県総支部俣野勝敏幹事長、大串博志衆議院議員が挨拶されました。

△連合 山根木副事務局長挨拶

〈連合佐賀の取り組み（行動要請）〉

参議院選挙勝利に向けた「連合佐賀の取り組み」については、草場事務局長からの提起とともに行動要請を行い、勝利をつかむため、連合佐賀35,000名の組合員が一致結束して全力で戦いぬくことが確認されました。

〈比例区 擁立構成組織の決意表明〉

今次参議院選挙の比例区で候補予定者を擁立する8構成組織代表の方々に、「比例候補者の必勝に向けた決意表明」を行っていただいた。連合は今次参議院選挙のキャッチフレーズとして「わたしプラスもう1票」を掲げており、まずは職場の組合員に声をかけ、さらに組合員一人ひとりが、組合員以外の人に声をかけて、比例候補者の必勝に向けて、共に全力で戦い抜くことを確認しました。

△小野つかさ候補予定者 決意表明

〈佐賀県選挙区　「小野つかさ」候補予定者の決意表明〉

「小野つかさ」候補予定者に決意表明いただき、将来を見据えた思いと熱い決意を受けて、連合佐賀としても「小野つかさ」候補予定者の必勝に向け全力で取り組み、連合佐賀の組合員とその家族、そして関係団体との総力戦で、7月の投開票には、佐賀県選挙区選出・参議院議員「小野つかさ」を誕生させることを総決起しました。

〈団結ガンバロー三唱／閉会〉

最後に佐賀県選挙区「小野つかさ」候補予定者と、比例区「構成組織推薦候補予定者全員」の必勝を期して、宮崎会長代行の団結ガンバロー三唱で集会を終了しました。

ワークルール検定2022・春（初級）実施!

6月12日（日）自治労会館大会議室にてワークルール検定が実施されました。連合は、ワークルール普及の観点から、ワークルール検定の取り組みを進めています。佐賀会場での検定は毎年春（基本6月の第2日曜日）に開催され、今年は各産別からの受検者と一般の受検者23名が挑戦しました。

今年度は、コロナ禍の中での開催であり受検者が減ることを心配したが、前年度以上の方が受検しました。

コロナ感染対策として、マスクの着用、手指の消毒、検温、ソーシャルディスタンスを意識した席の配置等、十分な対策を講じて実施しました。また、本年度は受検会場での講習はなく、11時から45分間の検定試験となりました。

結果については、70％･14問正解以上が合格となり、7月4日（月）の午前10時にワークルール検定公式ホームページに受検番号が掲示されました。

来年度も佐賀県での開催は、6月の第2日曜日開催が基本となりますので、今後も是非、多くの方に受検いただきスキルアップに役立てていただきたいと思います。

2022ジェンダー平等・多様性推進セミナー開催

連合佐賀は、6月18日（土）、自治労会館大会議室にて「ジェンダー平等・多様性推進セミナー」を開催し、総勢60名が参加しました。

〈主催者代表挨拶〉

連合佐賀ジェンダー平等・多様性推進委員会 吉田真也委員長

6月を「男女平等月間」に掲げ取り組んでいることや、連合佐賀の取り組み状況を説明し、今回開催しているセミナーに対し、労働組合としての情報を共有しながら学習する機会として荒牧様に講演をお願いしています。ジェンダー平等社会の実現に向け共有を図り、有意義なセミナーとなるようお願いしたいと挨拶しました。

△吉田委員長挨拶

〈学習会〉

2022年度連合佐賀「男女平等月間」の取組み　　連合佐賀　東島美香副事務局長

このセミナーは、連合の「男女平等月間」において、男女平等参画社会の実現に向け取り組むことを主旨とし、「一人ひとりが尊重された多様性や包摂性のある社会を実現しよう。」をテーマに開催していることや、2021年10月からの新たな取り組みである連合「ジェンダー平等推進計画」フェーズ１の計画について説明を行いました。

〈講　演〉「トランスジェンダーの私が悟るまで」

～一人ひとりが尊重された多様性や包摂性のある社会を実現しよう～

〈講師〉OVER　THE　RAINBOW　代表　荒牧 明楽　氏

△荒牧明楽氏

～一部を紹介～

①**LGBT＝性的少数者　人口 11人に1人**（左利き、AB型と同等）

カミングアウトしている当事者はわずか。カミングアウトするのは命がけ。

②**アンコンシャスバイアス（無意識の思いこみ）**について‥「自分では気づかない」こと

「優先**すべき**」「**ありえない**」「**絶対**おかしい」「**当たり前**」「そんなの**当然**」などといった自身の考え。

⇒もしかしたらいつの間にか「**思い込み**」や「**偏見**」を押し付けて、悪気もなく誰かを**傷付けたり、排除している**かもしれない…

③**もし、カミングアウトされたら　⇒　受容的な姿勢で受け止めましょう**

カミングアウトの負担は**大きいもの**。カミングアウトの理由や背景は様々。

どこまで伝えていいかを確認する　⇒　カミングアウトは**本人が決めること**（自己決定権）

くれぐれも強制・詮索などをしないように　「大切なことを言ってくれてありがとう」と受け止めてあげるのが大切。

④取り組みポイント

カミングアウトしても、しなくても**安心な環境を。本人の「困り感」に焦点を当て対応を**

・環境を整える　・注意深く見守る　・相談できることを発信　・決めつけずに傾聴

ＬＧＢＴや多様性などについて幅広く学びました。様々なシチュエーションに対し「自分だったらどうするか?」の場面では、短時間ながら参加者同士で活発に話し合い、戸惑いの声もありましたが、問題や課題を共有することが出来ました。

佐賀労働局 雇用環境・均等室への要請行動

連合佐賀は、6月21日（火）、男女平等月間の取り組みの一つである佐賀労働局 雇用環境・均等室への要請行動を実施しました。

1. 開　会　事務局（東島）

2. 要請書手交　女性委員会 石隈委員長より大田室長へ手交

3. 連合佐賀代表あいさつ　ジェンダー平等・多様性推進委員会 吉田委員長

要請主旨）連合が毎年6月に実施している「男女平等月間」の取り組みの一つである佐賀労働局への要請行動として、雇用環境・均等室に対し「雇用における男女平等に関する要請書」を提出することにあわせ、連合の新たな取り組み「ジェンダー平等推進計画」フェーズ１にも触れ、冒頭あいさつを行いました。

4. 要請概要説明　事務局より説明　（要請事項）特徴的なところ

(1) 雇用創出と生活困窮者への人道支援について

(2) 失業等女性の雇用に関する問題の適切な把握と可視化について

(3) 仕事と育児・介護、不妊治療等が両立できる就業環境の整備について

(4) ハラスメント対策、女性活躍推進について

5. 労働局大田室長あいさつ

ここ数年、法律の改正が多くなっています。その中で女性活躍推進法の行動計画では、101人以上の届出の義務化やハラスメントの中小企業への義務化、育児介護休業法の段階的な法改正などがあります。コロナ禍における状況も踏まえ、雇用環境・均等室の取り組みを行っています。労働局として制度の面から周知を図っていきたいと思います。

6. 労働局からの説明

①育児・介護休業法の改正のポイント　②パワハラ防止法　③求職者支援制度

④不妊治療と仕事の両立を支援する助成金の案内のほか雇用環境均等室で取り扱っている助成金について

⑤相談窓口について　など

7. 意見交換　労働相談の対応についてや助成金の利用に関して男性の育児休業や新型コロナ感染症小学校休業等対応の助成金申請が多いことや、ハラスメントでは男性が多いことなどの意見交換を行いました。最後に要請内容全般についても意見交換を行い、労使の議論と環境整備が重要との認識を共有し、今後も連携して取り組んでいくことを確認して終了しました。

【要請者】　（ジェンダー平等・多様性推進委員会）吉田委員長、矢ヶ部副委員長

（女性委員会）石隈委員長、城島事務局長、　（事務局）東島副事務局長

【対応者】　大田 雇用環境・均等室長、久富 雇用環境・均等室長補佐

平和行動in沖縄

6月23日（木）～25日（土）、那覇文化芸術劇場なはーと大劇場ほかにて、平和行動ｉｎ沖縄を実施しました。

【2022平和オキナワ集会】

今年5月に沖縄本土復帰50周年を迎え、「語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和を実現しよう」をテーマに平和オキナワ集会が3年ぶりに開催され、構成組織・地方連合会から742名が集結しました。連合佐賀からは女性委員会２名、構成組織３名、事務局１名の計６名で参加しました。

《第一部　講演会》

明田川　融（法政大学）教授より、「沖縄の施政権返還50年と日米地位協定」をテーマに講演いただきました。講演では、日米地位協定の歴史的経緯から近年の動向（問題点）、問題解決への提起がされました。

《第二部　平和式典》

△連合 芳野会長

冒頭、参加者全員で黙祷を行い、主催者を代表し芳野友子連合会長は「77年前、3か月の国内最大の地上戦が続き20万人もの尊い命が奪われた。米軍基地をめぐる問題は、日本全体の課題でもある。連合はこれからも『在日米軍基地の整理・縮小』と『日米地位協定の抜本的見直し』を掲げ、運動を続けていく。世界の恒久平和実現に向けて、平和運動の輪を一緒に広げて行こう」と述べられました。

【ピースフィールドワーク】

２日目は、在日米軍基地の実情や南部戦跡を視察・学習する「ピースフィールドワーク」を実施し336名が参加しました。「ピースガイド」は連合沖縄の青年・女性委員会に加え、連合大分の青年委員会が担当しました。

【参加者の感想】

〈平和オキナワ集会〉日米地位協定の抱える問題について考えさせられた。沖縄では色々なことが米軍優先とも言える現状があることを知り地元住民の生活の安全が保障されていないことを実感した。他人事ではない。

〈ピースフィールドワーク〉チビチリガマで戦時中避難した住民たちの最期の話を聞き、沖縄の今と昔を感じた。沖縄戦の悲しみ、傷跡が今も深く残っていた。米軍機の離着陸99ｄｂの騒音を聞き怖い思いが強かった。

〈ひめゆり資料館〉まだ学生だった人々が生きるか死ぬか劣悪な環境の中で直接的に戦争に従事していたことを知った。当事者の話はどれも凄惨で涙が止まらなかった。今の平和に感謝し守り続けていくべきと思った。

〈平和祈念公園〉平和の礎に刻まれた名前を見ていると、一人ひとりに家族がいて、平和な暮らしがあったはず。戦争の恐ろしさを改めて痛感した。ひめゆりの体験記録は想像を絶した。戦争の実相を学べてよかった。

〈平和行動in沖縄に参加して〉戦争について考える貴重な機会を頂き感謝している。生きる権利を奪う戦争を起こしてはいけないことを現地で見聞きでき得たものは大きかった。一人でも多くの人に伝えていきたい。

≪最後に≫

沖縄は、第二次世界大戦で多大な被害を被り、現在でも大きな課題を抱えています。その地を訪れ、平和とは・戦争とは何かを知り、未来に向けて何ができるかを考え、行動する機会となりました。

第26回参議院議員通常選挙結果

全産別・単組、組合員のご活動に感謝申し上げます。
ありがとうございました。

佐賀選挙区　〈 投票率　51.12% 〉

連合佐賀推薦　小野つかさ候補の応援ありがとうございました。

当落	氏名	年齢	得票数	得票率	政党	新・旧
	福岡　たかまろ	49	218,425	65.19%	自民	現
	小野　つかさ	45	78,802	23.52%	立民	新

※以下省略

←敗戦の弁で支援者のみなさんにお礼を述べる小野つかさ氏

比例区　〈 連合佐賀構成組織擁立候補 〉8名中7名が当選しました

氏名	構成組織	政党	新・旧
鬼木　まこと	自治労	立民	新
村田　きょうこ	基幹労連	立民	新
しば　慎一	ＪＰ労組	立民	新
石橋　みちひろ	情報労連	立民	現
かわい　たかのり	UAゼンセン	国民	現
竹詰　ひとし	電力総連	国民	新
はまぐち　誠	自動車総連	国民	現

編集後記

第26回参議院議員通常選挙については、大変お疲れ様でした。

さて、2022春闘ですが6月末の結果をもって、連合佐賀は2022春闘まとめに入ります。今回は、中小組合が健闘をしており、佐賀県全体としても、佐賀県地場労組の300人未満の結果が昨年を上回っています。

連合佐賀は10月の地方委員会にて2022春闘のまとめを行います。

2023春闘も更に結果が良くなるよう、共に頑張りましょう！　(K)